



KIWANIS CLUB OF TOKYO, INC.

## 設立20年の歩み

設立20周年記念式典  
第36回レディステデー

# PROGRAM

日時 昭和59年4月12日(木) 5:30～8:30

場所 京王プラザホテル南館エミネンスホール

## 設立20周年記念式典 (5:30～6:00pm.)

---

開会の辞  
来賓紹介

会長 上田隆介

歴代会長紹介  
挨拶

初代会長 鹿内信隆

祝辞

キワニスインターナショナル G.H. "Gil"  
事務局長 Zitzelsberger  
大阪クラブ会長 富和宗一

乾杯

会員代表 山田 勲  
20年皆勤者

## レディステデー (6:00～8:30pm.)

---

開宴のことば

大会実行委員長 黒住忠行

夕食と参加者相互の交歓

バザー

ショウタイム

ダークダックス

福引

司会 露木 茂  
(フジテレビ)

## ご挨拶



上田隆介  
（東京キワニスクラブ会長）

東京キワニスクラブは、去る二月二十四日、設立満二十年を迎え本日記念式典を盛大裡に催すはこびとなりました。

創立以来、独自のクラブとして、多くの方々から強い支持と、信頼をもって迎えられ今日の姿に成長発展いたしましたことは、誠に同慶に堪えません。

「20年の歩み」の編集は、この記念年の行事の一つとして計画され、本日皆さまと共に、設立の経過などを省みることができますことは、私の大きな喜びとするところでございます。

この目的は、①二十周年を契機に、キワニスクラブの資料を整理し、保存する。②設立の精神を再確認し、更に新しい発展に資する。③当会の活動内容を明らかにし、会員間の友好親善を増進させ、地域社会に奉仕し、いわゆる“More than a social club”を確立する、の三点に重きがおかれております。

紙面の制約で、収集資料の全部をお目にかけることができませんのは、大変残念ですが、成長過程を「歩み」の中から読みとっていただければ幸いです。

二十年の歴史を糧として、会員の皆さまとご一緒に、更に大きな発展を目指し努力してまいりたく存じますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終りに編集にあたられた広報委員各位に、厚く御礼申し上げます。

―新しい時代に即応したクラブ活動を

キワニス設立二十周年に想う―

## 康西信隆

東京キワニスクラブが発足してからはや二十年を迎え、本日ここに記念式典を催すはこびとなった。

私は東京キワニスの初代会長として、その創立に深く関わった一人だが、昭和三十九年一月二十四日、東京ヒルトンホテルで行われた発会式がつい昨日のことのように思われ、あまりにも時の経過の早いことにいまさらながら驚かされる。

東京キワニスクラブの歴史は、日本のキワニスの発展の歴史である。この間、キワニスインターナショナル本部と東京クラブの基本的方針、考え方の相違をのりこえて、今日の発展をみたのは、ひとえに会員諸氏のご努力の賜である。

東京キワニスクラブ設立のときは、本部の規約の例外として東京だけに認められる約束を作った。そして一九七七年十月、東京クラブ設立十三年目に懸案であったキワニスインターナショナル「日本地区」の設立が達成され、十クラブをもって地区設立というこれも又異例の措置であった。

私が、その四月に、シカゴ本部でガバナーとして洗脳教育を受けたとき、一番印象に残ったことは、彼等が青少年問題に非常に熱心であったことだ。

中学生、高校生を対象としたキー・クラブの活動、大学生を対象としたサークル・Kの活動、さらに中学、高校の先生の組織も作って、それぞれのスポンサー活動をしていることだ。しかし、そういった活動を推進するにあたっては、あらゆる障害があるので、対処するマニュアルがある。その説明を受けて、日本では少し状況が違

うが、教育問題を考えてみななければいけないと強く感じた。そして日本地区を設立するのを機会に青少年教育委員会を設置し、教育問題を取り上げたいと考えた。

キワニスクラブとしてどう動いたらよいかという指針がなかったので、平塚益徳先生と河井信太郎さん（いずれも故人）にお願いで、各クラブに向向っていただき、問題を提起していただいた。そして人間の陶冶育成、学歴社会を改めることなどについて具体的な提案をどのようにクラブ別にこなすか、あるいは地方の意見を統合して、中央でどうこなすか、進めていった。

その成果は、各クラブの大変熱心な青少年活動のきっかけとなって今日に至っている。第十回アジア太平洋会議は、青少年問題をテーマに開催されるが、是非青少年の教育問題についても討論されるよう願っている。

次に、いま私が感じていることは、私どものメンバー自身が、創立時の若さを失いつつあることだ。この会はわれわれだけの集まりで終わってはいけない。若い人がどんどん入って、新しい時代に即応したクラブ活動を展開できるよう、私はいまキワニスのメンバー倍加運動を提唱している。二十年を一区切りに、新しい皮袋を作って、新しい酒を盛ることを考えるべきだろう。

そして、今後キワニスの活動が、創立時の品位と教養を保持しながら、新しく発展してくれることを私は心から願っている。



キワニスインターナショナル・ハインバウ理事よりチャーターを受ける鹿内初代会長

# つくった人びと

## 設立20周年にみる

### 創設のエピソード

1956年、当時、東都製鋼と車輪工業の社長をしていた藤川一秋氏がカイザースチールを見学のため渡米した際、ナショナルシチズン銀行のゴア頭取が、リバーサイド地区の時のガバナードだった関係で、極東に初のキワニスクラブとして東京クラブを作ってもらえないかと依頼したが、藤川氏の多忙に粉れて1963年までそのままになっていた。

当時車輪工業の営業担当常務であった小幡康吉氏が、直接フォード社との商談で、デトロイトに行くことになったその打ち合せ中、突然藤川社長より、仕事を兼ねて、キワニスクラブ設立の用事も依頼された。同年7月20日のことであった。

翌日、ロサンゼルス・ヒルトンホテルで、カリフォルニア・ネバダ・ハワイ地区のストングバナナ、ゴア氏、バベジ氏も含め、役員10名くらいと会談、キワニスとは？ 日本での設立の可能性などを話し、では、どんなクラブを作るのかとのゴア氏の質問に答えて、小幡氏が、ただ数だけ多くするのは、ロータリー、ライオンズ等の同種社会奉仕団体に比べてつまらない。特に選りすぐった人達のクラブにするためには、数多くのクラブを作ることは不可能である。東京、名古屋、大阪の3地区にしか作らない。又、出席率等の特別ルールを認めて貰いたいとの提案をしたが、すつきり受け容れてくれなかった。しかし半日の討論の後、日本の事情が解らないから、と、小幡氏一任となった。

7月26日、バベジ氏同行で、シカゴ本部に  
出向き、O.E.ピーターソン事務局長他役員7  
8名と討議、口約だが、東京、大阪、名古屋  
の3地区のみで、スタートすることとなった。  
翌日、デトロイトキワニスクラブで昼食会に  
招かれ、「日本でクラブを作りたい」と挨拶す  
ると、大変嬉ばれた。

帰国後、車輪工業に創立の事務局を作り、  
ハワイのマウイ島のバーデン氏にも手伝って  
貰った。この頃創立趣意書を作ったのも、小  
幡康吉氏である。発起人は、

- 石川六郎（鹿島建設副社長）
- 小幡康吉（車輪工業常務取締役）
- 北裏喜一郎（野村証券副社長）
- 小坂徳三郎（信越化学工業社長）
- 五島昇（東急電鉄社長）
- 鹿内信隆（サンケイ新聞副社長）
- 原文兵衛（警視総監）
- 藤川一秋（東都製鋼社長）

の八氏であった。日本にキワニスを作るにあ  
たって、同年者でやっていた「いのしし会」  
のメンバーが、まず小幡氏の頭をよぎった。  
鹿内氏が欠席ながら、会長を引き受けてく  
れたことがキワニスクラブの運命を決めたこと  
云われる。文字通り、極めて熱心に活動し会  
議には必ず出席し、積極的な発言をした。

原文兵衛氏を発起人に願ったのも、役人を入  
れておこうという鹿内氏の意見だった。大阪  
クラブ設立の際、会長就任を厭がって逃げる  
永田敬生氏に、新橋「金田中」で「お前もいいか  
げん男らしく返事をしろ」と脅迫、同じくい  
のしし会のメンバーだった永田氏を説き伏せ  
たという。東京クラブの例会は、1963年  
10月から始められた。初代事務局長は小幡氏  
が引き受けた。

1964年1月24日、設立総会、同3月、  
ヒルトンホテルで盛大なチャーターナイトが  
催された。

チャーターメンバーの選考は、五島昇、小  
坂徳三郎両氏が、極めて熱心に、喧しくあた  
った。それ以前、鹿内氏は、キワニスインタ  
ーナショナル本部のピーターソン事務局長の  
家に招かれ、キワニスクラブ日本設立の趣旨  
を確認している。ロータリーや、ライオンズ  
が根を張っている中で、それと全く同じもの  
を狭い日本に並列させることは無意味である。  
従って、日本に作るすれば、極めて特色の  
あるものでなければ日本の社会で発展できな  
い。ゆえにキワニス憲章通りのものではない。  
その精神は生かすとしても、具体的運営  
方針その他について、大きく異例の取り扱い  
をしてくれるなら日本でもとめてみましょう  
ということ、例外規定を設けようというこ  
とになった。帰国後、入選については、まず  
一つには、クラブとして社会的に影響を与え

るものでなければならぬので、その意味で、  
これから10年ぐらい現役で働ける人間を中心  
にセレクトしようじゃないかということ、第  
二には、地域社会との関わりということにな  
れば、行政面も考慮しなければならぬとい  
うわけで、当時東京都副知事であった鈴木俊  
一氏とか、各役所の局長、次官クラスの人を  
入れようとした。次に学者、評論家、法律家  
を入れようということ。そしてこのへんの人  
的構成と、実業界の人的構成を50対50の比率  
で運営していこうではないかということでは  
ターゲットした。又、メンバー選考にあたっては  
政治、宗教の対立をクラブに持ち込まれるこ  
とを避けるため、この二つの分野に属する方  
には、遠慮願う方針が出来た。年齢制限は、  
55歳だった。

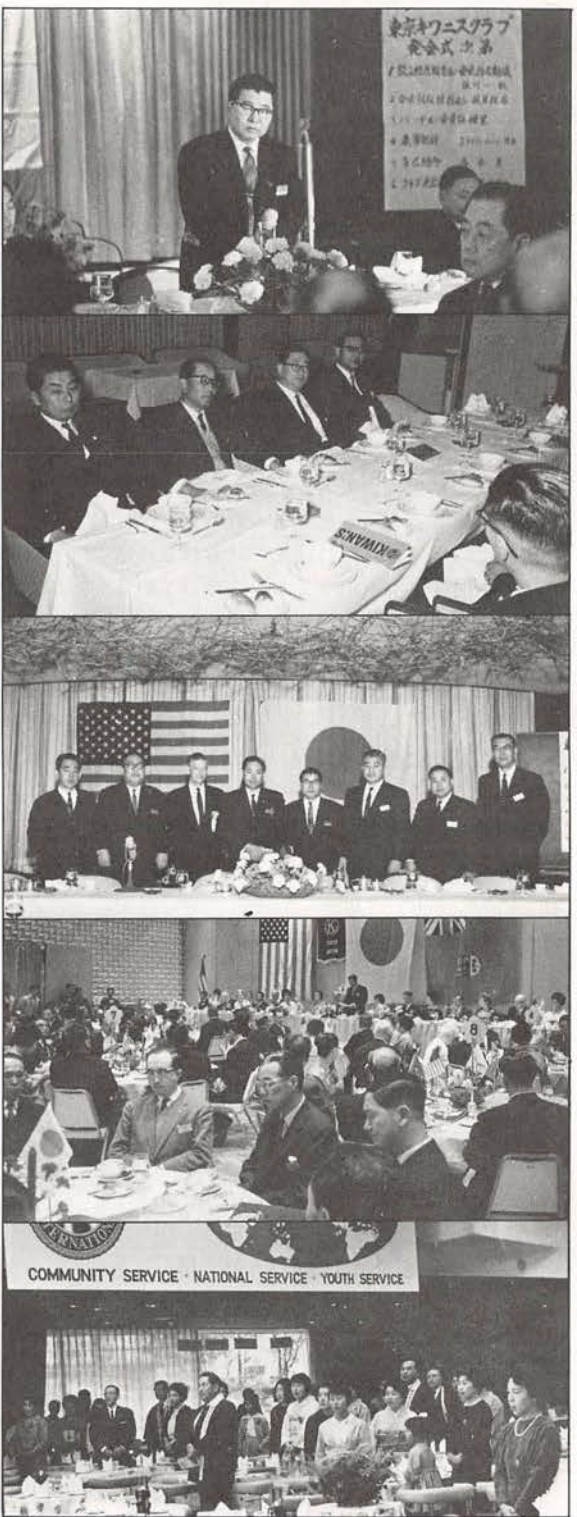
五島昇氏の計らいで、最初だから各々あま  
りばかげた負担があってもいけないであろう  
ということ、ヒルトンホテルを例会場に、旗  
揚げをした。これも鹿内氏が決めた。

キワニスインターナショナルの活動や発展  
の経過から見れば、クラブ新設やメンバー増  
強に日本は、怠けていることになる。又、対  
本部だけではなく、日本国内からも各地でキ  
ワニスクラブを作ろうという動きが出ている  
中で、非常なエリート意識だけが支配するよ  
うなことでは、会の将来を考えた時どうであ  
ろうという配慮もあって、それなら、主要10  
都市ぐらいには作ってもいいのではないかと  
いうことになった。初期の考え方から、現実  
に即した形に妥協をして今日に至っている。

鹿内氏は、初代会長を二期、日本地区初代  
ガバナーを二期務めた。キワニス国際憲章で  
は、役員任期は一年なのでルール違反である  
と氏は云うが、ルール違反をやらなければ、  
もたなかったということが現実であった。

創設期にまずクラブのメンバーが非常に精  
選されていた。自衛隊から裁判所までの役人  
が入ってくれたこと、こういう構成のクラブ  
は、他の同種社会奉仕団体にはないので、あ  
る意味では、非常に広範な接触を持ち、しか  
も活動としては、福田恆存氏提唱の、キワニ  
ス社会公益賞と、キワニス文化賞を生み出し  
てきた。かなり高度なクラブ活動のイメージ  
が高まった。福田恆存氏は、慰霊の泉の設計  
に、井上武吉氏も推薦した。

日本は、クラブが存在しにくい社会である  
という。即ち横断的な社会がなく、縦割り社



会の中で、財界の人、官界の人、となりがちで、横のクラブ活動が育たない、こういう土壌に、曲がりなりにも、現在の東京クラブのような形のものがあったのだから、非常に特異なものになったと思われる。

### 社団法人東京キワニスクラブ誕生

明治百年を記念して、靖国神社境内に、「慰霊の泉」を建設、英霊を慰めようとの特別企画を推進するにあたり、当クラブの社会的任務と責任をさらに明確にし、その事業を拡充強化し、その一層の発展を期するため、当クラブを、社団法人に改組することとし、1967年、2月10日付を以って厚生大臣に対し、社団法人設立許可申請を行なった。主務官庁の理解により、同2月27日付を以って、厚生大臣より「社団法人東京キワニスクラブ」の設立が許可され、この種社会奉仕団体としては初の社団法人としての法人格を有することとなった。

「慰霊の泉」の建設資金総額1、600万円については、主として会員並びに会員所属の会社団体からの寄付金によって賄うべく募金を行ってきたが、この寄付が、法人税法に定める「指定寄付」の指定を受けていないため、いわゆる免税処置が取れず、目標額を達成するには相当な困難が予想されるに至った。

そこで法人として認可された後、「指定寄付」

の指定申請を3月はじめ行うことになり、3月13日大蔵省告示第35号を以って、この申請が許可されることとなった。これにより、この後の募金は順調に進み、5月末日を以って、ほぼ目標額を達するに至った。

### 明治百年記念事業

特別企画の二つめは、社会奉仕活動の一環として、1966年4月から、1967年夏まで、各界の権威を講師に依頼、「明治百年記念講演」を三十回にわたり実施、「日本人はいかに生きるべきか」を探究、これら講師各位の了解を得、大和書房の協力を得て、この講演内容を「秘話 日本の百年」として刊行、広く国民各位に読んでいただき、記念講演の意図とともに探求していただくことと念願した。なお講演の主題および講師の銜衡には、当クラブ会員中央公論・笹原金次郎、文芸春秋・田川博一、財界研究所・山口比呂志、東急エージェンシー・鳥居達也、事務局長・牧田喜義の諸氏があたった。出版時の会長は、篠島秀雄氏であった。

### 各委員会の活躍

1964年11月6日、高橋初代メンバーシ

ップ委員長は、全会員に総務委員会他七委員会の所属決定をお知らせの形で発表した。財務委員会は、一一七万三千七円を資産の総額とし、以来、会費のみでクラブの台所を賄っている。上村健太郎初代委員長以来クラブの要として、クラブの風格を保ち乍らなお緊縮を旨とし、健全財政維持に努力を傾けている。

メンバーシップ委員会だけが六名で構成された。赤沢副委員長の他、武田豊、水野惣平会員等で、この時から東京キワニスの質の高さを維持するための緑の下力持ちを続けている。それが誇りでもある。1972年クラブ維持の方策「長期ビジョン計画」も立案されたが、実施に至らなかった。

事業企画委員会のもう一つの任務は、レディスデーの企画構成である。村上七郎芸能班長を中心に、会員家族の懇親の場として恒例の年中行事の一つに発展させた。鈴木会場担当実行委員の協力に負うところが多い。

キワニス社会公益賞制定は吉村社会公益委員長長の1966年に実現した。以来クラブの最大のモットーである「We Build」を具現しつつ、明るい地域社会の建設に努力、クラブの活動の原動力となっている。

文化委員会は、初代福田委員長を中心に外部権威を委嘱、専門委員とし、「キワニス文化賞」を制定実施、名実共に、キワニスの活動にふさわしいものとした。

## 「慰霊の泉」の由来

1966年、東京キワニスクラブが、創立満2周年を迎えるに当たり、明治百年を記念して、将来永く残る何か有意義な事業を興したい、との要望が期せずして会員の間に起り、その具体策として、靖国神社に心の籠った記念施設を造って護国の英霊を慰めよう、という気運が次第に高まってきた。

丁度その頃、故大西海軍中將の未亡人淑恵さんが、同様の願いを持ち続けておられることを産経新聞会長の水野成夫氏より伺い、関係者相談の結果大西夫人の宿望を当クラブが代って達成しよう、と意見が一致した。

戦死者の多くは、死に臨んで「お母さん水を！」と叫んで息を引きとる、と聞いているのに、靖国神社境内にはこの「水」がない、豊かに汲んで飲むことのできる清らかな水を戦没者に、——これが大西未亡人の20年間の悲願だった。

即ち「慈愛に溢れる母が、その子に清らかな水を注ぐ」そんなモチーフを具体化したい。換言すれば、「水を捧げる母の像」を造りたいと靖国神社に意向を伺ってみると、神社の性

北 裏 喜 一 郎  
(東京キワニスクラブ3代会長)

格上、具体的な「母」の像は相応しくない、とのことで、飽まで当初のモチーフを貫きながら、「清らかな水」を主体とし、「母」は抽象的に表現して、靖国神社の雰囲気と調和するよう案を練り直した。

施設の設計は、福田恆存会員の推薦により、彫刻家の井上武吉氏に委託した。

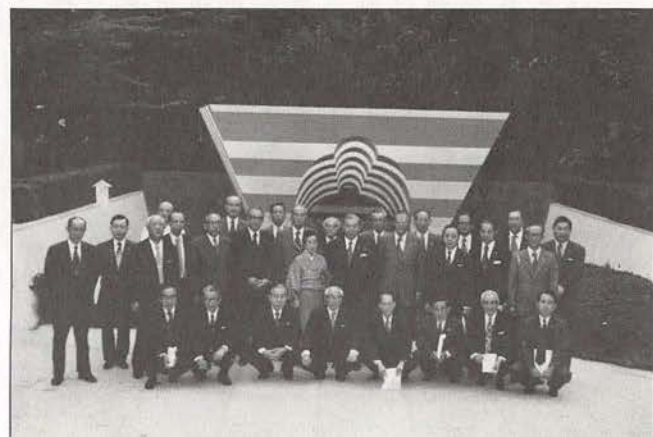
井上氏は、極めてむづかしい条件のもとで如何に初期のイメージを抽象形態で造形するか、非常に苦心され、その結果、今日見るようなユニークで親しみ易い、美しい作品をつくり上げてくれた。

同時に特記されるのは、大東亜戦争当時の激戦地の戦跡の石を、ブーゲンビル島、グアム島、フィリピン各地、硫黄島、沖縄各地などより51個を関係機関の絶大な協力で収集展示したことである。遺骨が無理ならば、せめて戦場の石でもと願うご遺族に喜んでいただけたと確信して現在に至っている。

戦場の石と原二代会長



慰霊の泉 北裏会長揮毫



献納十周年特別例会



## キワニス社会公益賞とは

当クラブの社会奉仕団体としての機能を一層発揮するため、昭和41年制定。日本地区主要行事、「日本キワニス文化賞」受賞者の顕彰に対比するものである。その趣旨は、社会公益のために世間に知られず酬いられることも少なく、長い間献身的労苦を続けている人達を広く探し求め、毎年、1件ずつ選んで賞を贈りその功績に敬意を表するとともに、その尊い存在を世間に紹介しようとするものである。又、これを契機として広い意味の社会福祉対策が政府においても民間においても積極的に取り上げられ、満足の施策が講ぜられるよう、出来る限りの運動を展開しようとするものである。

## 受賞者

第1回	昭和41年	彦根学園々々長西原正則（重度盲精薄）
第2回	昭和42年	秋津療育園理事長草野熊吉（重度身心障害）
第3回	昭和43年	多摩藤倉学園々々長川田はな（精薄）
第4回	昭和44年	日本聾話学校々々長大嶋功（聾）
第5回	昭和45年	島田療育園総婦長中沢千代子（重症身心障害）
第6回	昭和46年	浴風園寮母菅谷キヨ（養護老人ホーム）
第7回	昭和47年	本木隣保館主任種田あい（セツルメント）
第8回	昭和48年	ベテスタ奉仕女母の家いずみ寮指導員天羽道子（奉仕女婦人保護施設）
第9回	昭和49年	宇都宮地区BBS会（ともだち活動）
第10回	昭和50年	健康普及会々々長及川裸観（にこにこ裸運動）
第11回	昭和51年	聖明園々々長本間昭雄（盲老人ホーム）
第12回	昭和52年	(財)小田原少年園補導主任横川積治（更生補導）
	昭和53年	(財)小田原少年園火災のため御見舞い *このため第13回社会公益賞表彰は見送り
第13回	昭和54年	日本盲人職能開発センター常務理事松井新二郎（盲人の録音タイプ速記）
第14回	昭和55年	よこいとグループ (在宅障害児に対するボランティア)
第15回	昭和56年	「香蘭」店主林景東（精薄児雇用促進）
第16回	昭和57年	東京ヘレン・ケラー協会点字出版局長井口淳（盲人福祉）
第17回	昭和58年	ベタニヤホーム本所ベタニヤ母子寮長長睦すめる（母子福祉）

## キワニス文化賞とは

日本の伝統工芸の伝承にあたり、特に功績のあった工芸家や職人で、比較的世間に知られず、酬いられることも少なく、苦労を重ねている人々を広く探し求め、その中から毎年1件を選んで表彰し、その労をねぎらうと共に、その存在を広く紹介し、日本の優れた伝統工芸の保持発展に貢献することを目的とする。いわば職人賞と名づけてよい性格のもので、その製作者の職人魂を賞揚すると共に、民族的伝統工芸に対する一般の関心呼び起こし、伝統文化に対する誇りを、又ひいては愛国心を喚起したいという祈りから設定されたものである。

昭和40年制定、第3回までは、東京クラブの独自の事業として、第4回からは他クラブの合同事業として、更に地区設立後は、日本地区の主要事業に発展、名称を「日本キワニス文化賞」として授賞現在に至っている。

## 受賞者

第1回	昭和40年	漆 工	高野 松山	(蒔絵)
第2回	昭和41年	唐 組 み	深見 重助	(唐組み平緒)
第3回	昭和42年	江 戸 木 工	稲木東千里	(磨出象嵌)
第4回	昭和43年	羅・有職織物	喜多川平朗	(色)
			山本熊太郎	(織)
			佐々木ぬい	(糸)
第5回	昭和44年	七 宝	早川 義一	(釉薬、施薬、焼成)
			菱田 光治	(素地)
			栗田栄三郎	(金、銀線、錆)
第6回	昭和45年	宮 大 工	古田秋治郎	(規矩術)
第7回	昭和46年	和 楽 器	宮田 勝男	(箏)
第8回	昭和47年	和 紙	坂東 清馬ほか5名	(土佐典具帳紙手漉)
第9回	昭和48年	金 工	根来 実三	(釜)
第10回	昭和49年	面 ・ 首	大江己之助	(文楽首)
第11回	昭和50年	木 工 轆 轤	槌谷藤太郎	(輪島漆器はつり)
			北浜 保	(輪島漆器椀木地)
第12回	昭和51年	緋	角 良正	(弓浜緋藍染)
第13回	昭和52年	金 箔	谷口 栄吉	(金沢金箔打)
第14回	昭和53年	膠	妻屋 弘	(鹿膠)
第15回	昭和54年	和 楽 器	鈴木 磯吉	(小鼓)
第16回	昭和55年	三 味 線	天野 祐里	(棹)
			中村 盛雄	(皮張り)
第17回	昭和56年	手 漉 和 紙	馬場 孝良	(名塩紙)
第18回	昭和57年	たたら吹き	安部 由蔵	(玉鋼製造)
第19回	昭和58年	手 漉 和 紙	遠藤 忠雄	(白石紙)

# 東京キワニスクラブ

## 歴代会長

1964(昭39・1～39・12)	鹿内 信隆
65(〃40・1～40・12)	〃
66(〃41・1～41・12)	原 文兵衛 (退会)
67(〃42・1～42・12)	北裏喜一郎
68(〃43・1～43・12)	篠島 秀雄 (物故)
69(〃44・1～44・9)	上村健太郎 (〃)
70(〃44・10～45・9)	田坂 輝敬 (〃)
71(〃45・10～46・9)	水島 広雄
72(〃46・10～47・9)	中山 恒明
73(〃47・10～48・9)	平野 赳 (休会)
74(〃48・10～49・9)	岩田 式夫
75(〃49・10～50・9)	杉浦 敏介
76(〃50・10～51・9)	大堀 弘
77(〃51・10～52・9)	藤田 一暁
78(〃52・10～53・9)	熊野 修一
79(〃53・10～54・4)	鈴木 俊一 (退会)
(〃54・5～54・9)	泉 美之松
80(〃54・10～55・9)	〃
81(〃55・10～56・9)	安藤 蕃
82(〃56・10～57・9)	上田 英雄
83(〃57・10～58・9)	片桐 良雄
84(〃58・10～59・9)	上田 隆介

# キワニスごよみ

## 1964年(昭和39年)

- 1.24 東京キワニスクラブ発会式東京ヒルトンホテル・例会場とする。
- 3.6 東京キワニスクラブチャーターパーティー 東京ヒルトンホテル 海外ゲスト歓迎会、ツアー他

## 1965年(昭和40年)

- 1.24 名古屋キワニスクラブ発起人会
- 6. キワニス文化賞制定・第1回11月授賞

## 1966年(昭和41年)

- 1.24 名古屋キワニスクラブ設立総会
- 1. キワニス社会公益賞制定
- 3.24 第1回キワニス社会公益賞表彰式
- 4.1 特別企画「明治100年記念講演」スタート
- 6.20 会報KIWANIS TOKYO創刊号発刊
- 7.1-5 第51回国際年次総会ポートランド大会 原会長夫妻出席
- 7.26 大阪キワニスクラブ設立世話人会
- 8.26 ブーゲンビル島など戦跡石引渡式挙行 始まる。
- 8.30 グレンリード国際会長夫妻来日
- 9.1 名古屋キワニスクラブチャーターナイト
- 9.30 宮古島災害救援金の募集開始
- 12.12 明治100年記念施設「清い水と母」起工

## 1967年(昭和42年)

- 2.13 大阪キワニスクラブ第1回発起人会
- 2.27 東京キワニスクラブ「社団法人」認可
- 3.23 第2回キワニス社会公益賞表彰式
- 4.6 フランク・マッケープ国際事務局次長来日
- 4.7 報道写真家テド・スピーゲル氏、鹿内相談役並びに当クラブ取材のため来日
- 4.18 明治100年記念施設「慰霊の泉」奉告祭 除幕・献納式、直会、披露会
- 6.27 大阪キワニスクラブ設立総会
- 6.22-25 第52回国際年次総会・ヒューストン大会 北裏会長夫妻出席
- 9.23 カリフォルニア・ネバダ・ハワイ地区代表(27名)来日
- 9.26 同代表歓迎懇親パーティー東京ヒルトンホテル
- 11.2 岡部、数佐、鈴木3会員、靖国神社「慰霊の泉」の長期清掃奉仕に対し、同神社宮司より感謝状を受く
- 11.16 ジェームズ・モラー国際会長夫妻来日
- 11.18 大阪キワニスクラブチャーターナイト

## 1968年(昭和43年)

- 1.19 三輪良雄氏出版祝賀会 月光荘

- 2.20 ジャック・デルフ・パシフィック・ノースウエスト地区前ガバナー 来日
  - 2.29 スウエイン元国際会長夫妻来日
  - 3.1 スウエイン夫妻歓迎会 帝国ホテル
  - 3.14 ジャックデルフ氏歓迎会 遊ふき利
  - 3.15 篠島会長バーズニア州ブリストル市の名誉市民証と、市の鍵を贈らる。
  - 3.15 中国文化研究会 紀尾井寮
  - 4.5 第1回家族ボーリング大会 後楽園センター
  - 4.12 第3回キワニス社会公益賞表彰式
  - 4.18 靖国神社「慰霊の泉」献納2周年記念日、会員有志昇殿参拝
  - 5.12 第1回ゴルフ大会 武蔵カントリー一笹井コース
  - 5.24 第1回囲碁大会
  - 6.30-7.3 第53回国際年次総会トロント大会篠島会長夫妻出席
  - 7.4 長老会議 パレスホテル富士の間
  - 7.14 東京湾釣大会 サンケイ号にて
  - 7.20 同好会員によるゴルフ会 軽井沢GC
  - 9.20 第6回中国文化研究会 柳光亭
  - 10.13 第2回ゴルフ会 300C
  - 11.13 ハロルドハインバウ国際会長夫妻来日
  - 11.15 第8回中国文化研究会 柳光亭
  - 11.18 3クラブ合同大会・第4回キワニス文化賞表彰式
  - 12.6 第9回中国文化研究会 柳光亭
  - 12. 映画「トラ・トラ・トラ」撮影開始
- ## 1969年(昭和44年)
- 1.17 第1回中国文化研究会 芳川
  - 2.14 第3回日本文化研究会 はん居
  - 3.6 フレッド・ワインブレナー国際カウンセラー来日
  - 3.13 ジャック・デルフ国際理事歓迎夕食会 遊ふき利
  - 3.14 第3回中国文化研究会
  - 4.18 靖国神社「慰霊の泉」献納3周年記念日、会員有志昇殿参拝
  - 第4回キワニス社会公益賞表彰式
  - 6.29-7.2 第54回国際年次総会マイアミ大会 上村会長夫妻出席
  - 7.20 同好会員によるゴルフ会 軽井沢GC
  - 10.24 ロバート・ウェーバー国際会長夫妻歓迎夕食会 フジテレビ・ロートレックの間
  - 11.18 3クラブ合同大会・第5回キワニス文化賞表彰式
  - 12.19 第2回中国文化研究会 芳川
- ## 1970年(昭和45年)
- 1.23 第3回中国文化研究会 柳光亭
  - 2.13 第1回日本文化研究会 芳川

2.16	ジャックデルフ国際理事歓迎夕食会	11.10	日本キワニス委員会名古屋国際ホテル	1975年(昭和50年)
4.14	靖国神社「慰霊の泉」献納4周年記念 会員有志昇殿参拝		第5回全日本合同大会・合同事務局長 会議・第8回キワニス文化賞表彰式	1.31 新年会 築地 治作
5.22	第4回中国文化研究会 飛鳥ビル	11.26	お酉さまを見る会ゲスト神田伯治	2.8-10 キワニス沖縄ツアー
6.4	広島キワニスクラブ設立総会	12.23	第1回ファミリーボーリング大会	6.18-20 デトロフ国際事務局次長来日
6.21-24	第55回国際年次総会		1973年(昭和48年)	6.22-25 第60回国際年次総会アトランタ大会 杉浦会長夫妻出席
	デトロイト大会田坂会長夫妻出席	1.29	新年会 般若苑	8.28-30 第1回アジア太平洋会議香港大会 鹿 内委員長の代理として山下幸夫国際委 員長出席
6.26	第5回キワニス社会公益賞表彰式	2.2	囲碁の会 日本棋院	8.30 高松キワニスクラブ設立総会
7.19	第8回ゴルフ大会 新軽井沢GC	2.23	札幌キワニスクラブ設立発起人会	9.5 中国文化研究会
7.28	神戸キワニスクラブ設立発起人会	2.28	アイスランド・ベストマナエヤル災害 にUS\$1,500を援助	9. 台風5、6号による災害のため「高知県 伊野町風水害義捐金」募金。ここには 第8回キワニス文化賞受賞者土佐典具 帖紙・手漉紙に従事する6名在住、そ の復旧援助
8.7	テッド・ジョンソン国際会長夫妻来日	3.16	中国文化研究会	10.2 ゴルフ大会 300C
9.14	ヨーロッパケネスP.グリーンナウエ イ国際アドミニストレーター来日。	4.7	第2回ファミリーボーリング大会	11.7 第8回全日本合同大会 神戸オリエン タルホテル・第11回キワニス文化賞表 彰式
	第2回日本キワニス委員会	5.12	釣と天ぶらを楽しむ会 木更津沖	11.17-18 紅葉の京都を訪ねる旅—その2—
9.18	第6回中国文化研究会	5.19	第7回ゴルフ大会 愛鷹CC	12.11 忠臣蔵めぐりバスツアー
10.7	全日本合同事務局会議	6.21	第58回国際年次総会・モントリオール 大会 平野会長夫妻出席	1976年(昭和51年)
10.15	神戸キワニスクラブ設立総会 神戸オ リエントタルホテル	6.30	植木市を楽しむ会 ゲスト一竜貞貞丈	1.9 例会場を経団連に変更する。
12.10	全日本合同事務局長会議 糖業会館	6.30	札幌キワニスクラブ設立総会	1.16 第10回キワニス社会公益賞表彰式
12.10	第3回全日本合同大会・第6回キワニ ス文化賞表彰式	7.30	第8回ゴルフ大会 軽井沢72GC	4.7 福岡キワニスクラブ発起人会
	1971年(昭和46年)	8.5	熱海海上花火を楽しむ会以後恒例行事	4.9 ジャックデルフ国際理事来日
2.3	新年会	8.24	第8回キワニス社会公益賞表彰式	4.23 米国ベーカーズフィールド市ハイラン ド高校コーラス歓迎昼食会
3.17	全日本合同事務局長会議 神戸オリ エンタルホテル	9.5-6	奥只見ダム見学旅行会	4.28 ゴルフ大会 300C
	第3回日本キワニス委員会	10.7	Dr. ウィリアムM. イーグルス国際会長 夫妻来日歓迎夕食会	5.17 福岡キワニスクラブ設立総会
	神戸キワニスクラブ「チャーターナイ ト」神戸オリエンタルホテル	10.13	札幌キワニスクラブチャーターパーテ ィー	6.20-23 第61回国際年次総会サンディエゴ大会 大堀会長夫妻出席(神戸クラブの諸活 動に対してマルチプルサービス賞を、 東京クラブの活動に対してシングルサ ービス賞を受ける)。
6.2	第2回ゴルフ大会	11.9	日本キワニス委員会 広島国際ホテル	8.13-16 テッド・オズボーン国際会長夫妻来日
6.13	真鶴釣大会 中山邸懇親会		第6回全日本合同大会・第9回キワニ ス文化賞表彰式	9.2-4 第2回アジア太平洋会議 シンガポ ール大会 鹿内委員長代理滑川会員出席
6.23	仙台キワニスクラブ設立総会 グラン ドホテル仙台	11.10	キワニス親睦ゴルフ会 広島CC	10.22 第11回キワニス社会公益賞表彰式
6.27-6.30	第56回国際年次総会サンフランシスコ 大会水島会長夫妻出席		1974年(昭和49年)	11.5 第9回全日本合同大会 大阪ロイヤル ホテル・第12回キワニス文化賞表彰式
7.18	第3回ゴルフ大会 軽井沢GC	1.31	新年会 八芳苑	12.10 忘年会 椿山荘
7.22	全日本合同事務局長会議 糖業会館	4.19	中国文化研究会 喜久吉	1977年(昭和52年)
9.21	仙台キワニスクラブチャーター授与式	4.20	ファミリーボーリング大会	1.3 新春歌舞伎観劇会
10.27	第6回キワニス社会公益賞表彰式	5.18	ゴルフ大会 霞ヶ関CC	2.2 新年会 銀座椿山荘
11.19	全日本合同大会・第7回キワニス文化 賞表彰式	6.8	釣と天ぶらを楽しむ会 木更津沖	4.23 程ヶ谷ゴルフ大会
	1972年(昭和47年)	6.23-26	第59回国際年次総会デンバー大会 岩 田会長夫妻出席	4.30 時津風部屋稽古見学
1.26	新年会	7.14	軽井沢ゴルフ大会	5.19 福岡キワニスクラブチャーターナイト
4.17	第5回ゴルフ大会 千葉CC	7.24-26	米カリフォルニア州リパティ・ユニ オンハイスクール一行9人会員宅にホ ームスティ	5.22-23 京都旅行
6.2	中国文化研究会	10.1	合同事務局長会議	5.28 団菊祭観劇会
6.18-21	第57回国際年次総会アトランティック シティ大会中山会長令嬢と共に出席	10.25	第9回キワニス社会公益賞表彰式	6.3 高松キワニスクラブチャーターナイト
7.14	第7回キワニス社会公益賞表彰式	11.8	第7回全日本合同大会 東京大会	6.26-29 第62回国際年次総会ダラス大会 藤田
7.16	第6回ゴルフ大会 新軽井沢GC		第10回キワニス文化賞表彰式	
8.17	フランクマッケーブ国際事務局次長来 日、歓迎昼食会 阿家	11.9	全日本懇親ゴルフ会 スリーハンドレ ッドクラブ	
9.29	横浜キワニスクラブ設立発起人会	11.17-18	紅葉の京都を訪ねる旅	
		11.22	横浜キワニスクラブチャーターパーテ ィー	

	会長夫妻出席	1.16	新年会 ヴァン・ローゼ		会 中山日本地区会長と令嬢、上田英雄会長夫妻出席
7.16	軽井沢ゴルフ大会	4.3-6	第6回アジア太平洋会議バンコク大会 吉見事務局長夫妻他出席	7.	全日本学生キャンプに50万円寄付
8.5	熱海花火大会			7.2	第16回キワニス社会公益賞表彰式
9.13	日本地区設立総会、祝賀レセプション スタンレーE・シュナイダー国際会長 夫妻・メリドウ国際事務局長来日・第 13回キワニス文化賞表彰式	4.10-13	マーク・スミスJr国際会長夫妻来日	7.	北九州災害義捐金100万円を寄付
12.2	第12回キワニス社会公益賞表彰式	6.22-25	第65回国際年次総会アナハイム(カリ フォルニア州)大会 北裏ガバナー夫 妻、泉会長夫妻他出席	9.24	第6回日本地区年次総会 広島大会・ 第18回キワニス文化賞表彰式 国際会 長代理フランクJ.ディノット夫妻来日 歓迎昼食会
1978年(昭和53年)		7.	全日本学生キャンプに50万円寄付	10.16	秋季ゴルフ会 300C
3.3	早春懇親会 椿山荘八重洲店	7.11	京都キワニスクラブ設立総会	11.14-15	紅葉の京都を訪ねる旅
3-6.15	青少年教育問題について専門委員によ る各クラブ講演訪問実施	9.6	秋季ゴルフ大会 300C	11.25	観劇会 新橋演舞場
5.20	ゴルフ大会 東京バーディC	9.26	歌舞伎観劇会	12.9	忘年会 婦志多
5.21	真鶴釣大会とパーティ 中山邸	7.19	軽井沢ゴルフ大会	1983年(昭和58年)	
5.28-29	京都・奈良旅行	10.9	第4回キワニス日本地区年次総会 大 阪大会 国際副会長サーストン夫妻来 日歓迎夕食会・第16回キワニス文化賞 表彰式	1.12	第4回観劇会 歌舞伎座
6.17	マイフェアレディ観劇	11.7	第14回キワニス社会公益賞表彰式	2.4	千葉キワニスクラブ設立総会
6.25-28	第63回国際年次総会 マイアミビーチ 大会 鹿内ガバナー夫妻、熊野会長夫 妻出席	12.12	忘年会	4.8-10	第9回アジア太平洋会議セブ大会 奥 村事務総長他出席
7.10	モーリス・グラッドマン国際会長夫妻 来日歓迎夕食会 松葉屋	12	日本地区イタリア地震救済基金に寄付	5.14	第4回ゴルフ大会 300C
7.18	富士通沼津工場見学とゴルフコンペ	1981年(昭和56年)		6.24	小松原庸子のフラメンコを見る会
7.19	第4回アジア・太平洋会議グアム大会 尾上会員他出席	1.16	新年会 ヴァン・ローゼ	7.3-6	第68回国際年次総会ウィーン大会 岩 田日本地区会長夫妻、片桐会長夫妻他
7.25	熱海海上花火大会	4.5-8	第7回アジア太平洋会議 東京大会 メラルド・エンスタッド国際会長夫妻 来日、デトロフ次長来日、歓迎夕食会 京都キワニスクラブチャーターナイト	7.15	第17回キワニス社会公益賞表彰式
7.29	ゴルフ大会 旧軽井沢GC	4.9	キワニスヨーロッパシャトルン会長夫 妻来日歓迎昼食会	7.16	軽井沢ゴルフ大会
9.15	第2回日本地区年次総会札幌大会・第 14回キワニス文化賞表彰式	6.13	第66回国際年次総会ニューオーリン ズ大会 水島ガバナー夫妻、安藤会長 夫妻出席	9.14	サッポロビール工場ビールの会
11.5	レッズ対巨人軍観戦	6.28-7.1	全日本学生キャンプに50万円寄付	9.20	千葉キワニスクラブチャーターナイト
11.12	「どん底」観劇会	7.	軽井沢ゴルフ大会	9.22	第7回日本地区年次総会 仙台大会・ 第19回キワニス文化賞表彰式 レイモ ンド・ランスフォード次期国際会長夫 妻来日歓迎夕食会
11.18	Hi-OVIS見学会と紅葉を楽しむ会	7.11	熱海海上花火大会	10.	日本地区重点施策に協力寄付
11.25	熊野杯争奪ゴルフ会 霞ヶ関CC	8.5	第5回日本地区年次総会 神戸大会・ 第17回キワニス文化賞表彰式 E. B. マック・マッキトリック国際会長夫妻 来日歓迎昼食会	11.11	ショウとディナーを楽しむ夕べ
12.1	忘年会 椿山荘八重洲店	9.2	第15回キワニス社会公益賞表彰式	11.24	第5回ゴルフ大会 東京GC
12.2	「屋根の上のヴァイオリン弾き」観劇	9.18	秋季ゴルフ大会 300C	11.29	NHK見学会
1979年(昭和54年)		10.17	秋季京都旅行	12.14	オーブレイ・E・アービー国際会長夫妻 来日・都知事訪問他
1.12	新年会 銀座椿山荘	11.23-24	忘年会 婦志多	12.15	忘年会 婦志多
1.24	創立15周年記念祝賀会	12.	日本地区重点施策World Health Fuudに協力寄付	1984年(昭和59年)	
3.10	「黄金の日々」観劇会	1982年(昭和57年)		1.14	新春観劇会 歌舞伎座
4.22-23	春季京都旅行と会田雄次氏のお話	1.12	新春観劇会 歌舞伎座	2.1	重点施策基金募金開始
5.26	春季ゴルフ大会 霞ヶ関CC	4.	「キワニス・マガジン」日本地区取材 のためS.ペンバートン編集長来日	2.10	有名レストランでの食事会 小川軒
7.1-4	第64回国際年次総会トロント大会、吉 見事務局長夫妻出席	4.16	第8回アジア太平洋会議クアラランブ ール大会 瀧川事務総長夫妻他出席	3.2	警視庁見学会
7.15	ビル・ソルバーク国際会長夫妻来日	4.25	春季ゴルフ会 300C	3.17	観劇会 新橋演舞場
7.23-26	第5回アジア・太平洋会議台中大会 鹿内ガバナー夫妻他出席	5.	キワニス本部移転寄付	3.30-4.1	第10回アジア太平洋会議 ソウル大会 杉浦日本地区会長夫妻他出席
8.11	軽井沢ゴルフ大会	5.19-20	大和路を訪ねる旅	4.12	東京キワニスクラブ設立20周年記念式 典G.H.ジル・ジツツェルスバーガー国 際事務局長夫妻来日
9.7	キワニスインターナショナル・アラン ダフィールド理事来日歓迎夕食会	6.27-30	第67回国際年次総会 ミネアポリス大	4.18	第6回ゴルフ大会 霞ヶ関CC
10.5	第13回キワニス社会公益賞表彰式			6.24-27	第69回国際年次総会フェニックス大会 杉浦日本地区会長、上田隆介会長出席 予定
10.16	第3回日本地区年次総会 名古屋大会・ 第15回キワニス文化賞表彰式			9.26	第8回日本地区年次総会 横浜大会
11.17	秋季ゴルフ会 霞ヶ関CC				
1980年(昭和55年)					

# 懐かしのアルバム



'64・3・7 歓迎昼食会



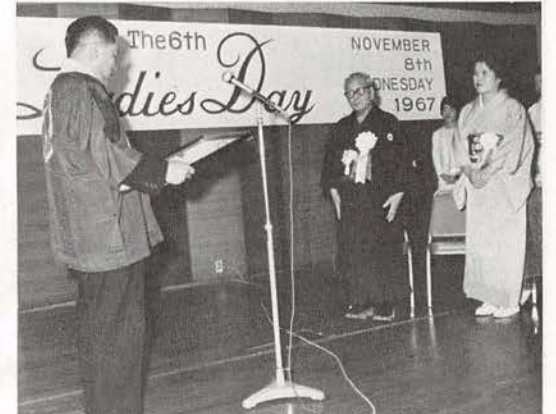
'68・11・18 キワニス日本委員会発足



'66・3・24 第3回レディスデー



'67・7・15 第1回ゴルフ大会、軽井沢C C



'67・11・8 第3回キワニス文化賞表彰式



'66・5・78 第1回レクリエーション大会



'67・9・26 カリフォルニア・ネバダ・ハワイ地区歓迎パーティ



'67・11・17 モーラー国際会長来日



'67・11・8 第6回レディス・デー



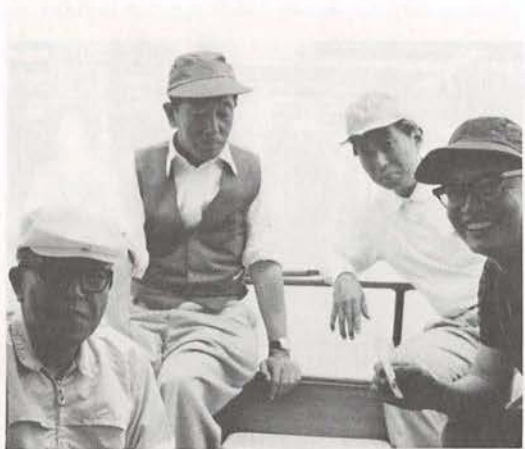
'70・9・14 広島キワニスクラブチャーターナイト



'68・2・27 第1回中国文化研究会



'71・2・3 新年会



'68・7・14 東京湾釣大会



'77・7・4 一水会ゲスト大空真弓



'78・4・4 中華民国地区歓迎レディスデー



'64・6・12 第17回例会講師佐藤栄作



'65・5・ 例会風景



'76・1・16 第10回キワニス社会公益賞表彰式



'64・10・23 海外のゲスト



'69・12・19 第290回例会講師清水崑



'66・6・10 明治百年記念講演



'65・2・26 バナー交換



'76・4・23 第590回例会米国高校生コーラスを迎えて



'67・4・7 第158回例会講師今井大彰



'78・1・6 新年互礼会

## 幻のトラ・トラ・トラ

日米合作の二十世紀フォックス映画「トラ・トラ・トラ」が昭和45年9月放映された。ところがフォックス社倉庫に、日本側制作のもう一つのフィルムが眠っていることは、一般に余り知られていない。

この映画は、フォックス社から依頼されて日本の代表映画監督黒沢明氏が、1年半を費してシナリオを完成し、単なる戦争映画としてではなく、開戦に至るまでの日米間のいろいろな交渉の経緯と真相を描き出し、日本の国際信義に対する世界の誤解を解こうという考えに立ったもので、その一つの現われとして出て来たのが、主要キャストに素人の社会人を充てるという考え方であった。

『国の危急存亡の秋に、身命を賭していた人達を再現するには、日米開戦を身をもって体験し、現在各分野で活躍している社会生活の年輪を経てきた社会人の高い質が必要だ』という構想にピッタリであったキワニス・クラブから、10数名が協力出演することになった。宇垣参謀長に三輪良雄会員（以下敬称略）山口少将に北野次登、藤井政務参謀に数佐三郎、黒島参謀に牧田喜義、清水中將に岩田幸彰、伊藤軍令部次長に南出他十郎等の海軍武官の他、野村駐米大使に小幡康吉、米楯全権大使に片桐良雄、喜多総領事に永井邦夫等の外交官役が決定した。又、東郷外相には春日由三、第11航空艦隊参謀長大西滝治郎役は安藤蕃会員に決まった。

43年12月3日から20日間、黒沢監督との親交を深め、世界に配給されるこの映画に、思想と芸術を確立しようとする氏のひたむきな情熱に打たれ出演した。

12月24日、最終の撮影スケジュールの日、「黒沢氏は病氣なので、監督を変えて撮影を続行するが引き続き出演して欲しい」と突然の申し入れがフォックス社からあり、全協力者は、黒沢監督が心血を注いだ脚本で、その理想を実現するのだから、協力する意志のないことを明言して引きあげた。事の真相は、複雑怪奇で、一口で云えば、黒沢氏のひたむきな制作態度が、商業主義に徹した米国映画陣に理解出来なかったことと、それを破局的な誤解にまで深めた汚い要因が、日本陣営内にあった結果といわれる。幻の作品は後日、黒沢氏のスピーチに、今までの僕の監督生活の中にも、びっくりする程いいものでしたといわしめた出来栄であった。この20日間に撮られたラッシュフィルムは全部フォックス社に持ち去られて以来陽の目をみない。



左より三輪良雄、安藤蕃、牧田喜義、数佐三郎の各会員

## 第7回アジア太平洋会議（東京大会）

1979年の第5回アジア太平洋会議台中大会の決議で、ホスト地区ならびにホストクラブに決定以来、水島ガバナーを中心に、安藤東京会長はじめ荒井国際委員長などによって入念な準備が進められた。殊に任期中に逝去した吉見局長に代って、この大会のために特に選任された上田克郎事務局長の苦労は大変なものであった。ホスト役は、台所方も務めなければならないので、連日、刻々変わる登録者数による予算と実状の板ばさみに、頭が痛い。

大会は1981年4月5日(日)から8日(水)、新宿・京王プラザホテルで開催された。

海外33クラブから118名、国内231名の参加者を数え、キワニスインターナショナル・エンスタッド会長夫妻、デトロフ次長なども参加、アジア太平洋地域会員の親交を深めた。

4月5日6時、開会式に先立って開かれた水島地区ガバナーならびに安藤東京会長主催の役員晩餐会には、各地区役員が招かれ、前夜祭にふさわしい雰囲気盛り上げた。

4月6日(月)10時・開会式。安藤会長の挨拶のあと、鹿内終身名誉ガバナー、水島ガバナーの英語のスピーチならびに各国代表の挨拶を兼ねた地区レポートがあった。キワニスインターナショナル・エンスタッド会長は、所用で到着が遅れたためデトロフ次長がメッセージを代読した。元キワニス会長鈴木東京都知事も、出席され、挨拶された。会期中の通訳は、荒井国際委員長が主として務めた。

4月7日(火)10時・1980-81の重点施策「TAKE TIME TO CARE」を中心に活動状況等が進められ、日本から提案の「アジア太平洋地区青少年問題について」の各国発表と討論に移った。日本からは、相羽会員(名古屋クラブ)が代表で、通訳は高木国際委員長が担当した。1982-83の開催地をフィリピン・セブ市に決定し、全会議を終了、正午よりお別れパーティーが、山下国際委員の司会で始まり、水島ガバナーより各国の代表者に、大会参加記念の楯を贈呈、全参会者には、安藤東京クラブ会長より認証状が手渡された。

日本地区中山次期ガバナーの挨拶の後、次期開催地マレーシアのラム代表より挨拶があった。





## 創設期の例会講演(1964～1968年)

1964年

回数	日付	スピーカー	演 題
1	1/31	会員 紅林茂夫	開放経済下における景気動向について
2	2/7	会員 高橋幹夫	最近の交通事情について
3	2/14	会員 高木 昇	宇宙科学と観測ロケット 映画上映
4	2/21	会員 高木 昇	宇宙科学と観測ロケット 映画上映(続)
5	2/28	会員 上田英雄	中年以後の心臓病について
6	3/13	会員 赤沢璋一	国連貿易開発会議について
7	3/27	会員 金富与志二	ニューヨーク世界博覧会について
8	4/3	会員 福田恆存	欧米旅行雑談
9	4/10	会員 木戸孝彦	諸外国との国際契約について
10	4/17	会員 本多不道	最近の犯罪情勢について
11	4/24	会員 上村健太郎	韓国の情勢について
12	5/8	会員 梶川俊吉	中ソ分裂と日本に対するその影響
13	5/15	会員 鹿内信隆	アメリカ旅行から帰って
14	5/22	会員 安部 英	動脈硬化の成因とその予防
15	5/29	会員 北裏喜一郎	最近の資本市場について
16	6/5	会員 平野 赳	食品の流通について
17	6/12	国務大臣 佐藤栄作	総裁問題をめぐって
18	6/19	会員 平野 赳	食品の流通について(続)
19	6/26	会員 山田正男	東京都の将来の都市計画について
20	7/3	自民党総務会長 藤山愛一郎	私の政治生活と信条
21	7/10	日本労働協会理事 飼手真吾	ILO問題について
22	7/17	富士製鉄社長 永野重雄	アメリカ漫談
23	7/24	会員 中山恒明	ガンの話
24	7/31	東大脳生理学研究所々長 時実利彦	脳の話
25	8/7	徳川夢声	最近感じたこと
26	8/14	国立競技場常任理事 北沢 清	オリンピックあれこれ
27	8/21	会員 サミエル・ジェームスン 吉村一雄	特派員の見た日本外交政策 ゴールドウォーターの指名と内外の影響
28	8/28	会員 田川博一	雑誌記者
29	9/4	防衛研究所々長 佐伯喜一	日本の防衛について
30	9/11	不二音響テレビジョン社長 加藤泰安	ニューギニア高地人について
31	9/18	陶芸家 河村熹太郎	ヤキモノについて
32	9/25	徳禅寺住職 立花大亀	禅漫談
33	10/2	新年度役員および各委員会委員長並びに副委員長	改選の件
34	10/9	メキシコシティクラブ会長 フランシスコ・コントレラス	This is Mexico (映画上映)
35	10/16	会員 片桐良雄	IMF総会の裏話あれこれ
36	10/23	前駐ソ大使 山田久就	政変をめぐるソ連の動向
37	10/30	大陸問題研究所々長 土居明夫	フルシチョフ退陣と中共核実験実施後の国際情勢
38	11/6	前拓大総長 矢部貞治	最近の政治動向
39	11/13	養蜂家 松田正義	養蜂の苦心
40	11/20	東京都監察医務院医務課長 越永重四郎	監察医のみた人生の裏街道
41	11/27	日銀調査局次長 吉野俊彦	金融証券市場の現状と見通し
42	12/4	会員 小坂徳三郎	東欧視察旅行から帰って
43	12/11	会員 紅林茂夫	転換期にのぞむ経済政策
44	12/18	映画監督 山本嘉次郎	映画よもやま話
45	12/25	会員 山下静一	東欧旅行こぼれ話

1965年

回数	日付	スピーカー	演 題
46	1/8	作曲家 服部 正	アメリカ演奏旅行から帰って
47	1/22	共同通信外国特信部長 垣内政彦	南ベトナムのゆくえ
48	1/29	囲碁名人本因坊 坂田栄男	勝負の根性
49	2/5	会員 笹原金次郎	板門店見たまま
50	2/12	南米銀行副頭取 宮坂国人	南米の生活
51	2/19	国鉄新幹線支社長 加藤一郎	新幹線あれこれ
52	2/26	会員 鈴木俊一	東京の水
53	3/5	評論家 大宅壮一	無題
54	3/12	会員 井深 大	無題
55	3/19	会員 武田 豊	大脳生理学の人材調査への応用
56	3/26	一周年記念家族パーティー	
57	4/2	日本万歩クラブ理事長 大矢 巖	1日1万歩の効用
58	4/9	ジャパントゥタイムズ社長 福島慎太郎	国連総会について
59	4/16	会員 赤沢璋一	フィージー島雑談
60	4/23	US国務省政策企画委員会委員長 ウォルター・W・ロストウ博士	
61	4/30	国際キリスト教大学々長 鶴飼信成	国際大学の理念と現実
62	5/7	駐日米国財務官 ロバート・ペリカン	米国国際収支と日本経済
63	5/14	会員 高木 昇	日本の宇宙開発
64	5/21	ネイバー・ヒルクラブ会員 ウィラート・L・ミュエル	「カナダ・ロッキーの山」(カラーライド)
65	5/28	会員 北裏喜一郎	最近の韓国
66	6/4	産業心理センター所長 山口 彰	無意識層の開発と経営者の問題
67	6/11	会員 佐治敬三	洋酒の話 (カラーライド上映)
68	6/18	会員 紅林茂夫	新内閣と今後の景気動向
69	6/25	会員 中山恒明	ラスヴェガス雑感
70	7/2	会員 坂部三次郎	織らない織物の話
71	7/9	会員 上田英雄	肝臓の話
72	7/16	会員 天城 勲	アジアの教育問題
73	7/23	会員 鹿内信隆	
		会員 吉村一雄	第50回キワニス年次総会に出席して
74	7/30	会員 原田 明	話手のいない時の話
75	8/6	政治評論家 高谷覚蔵	ヴェトナムを見て
76	8/13	会員 田坂輝敬	最近の鉄鋼状勢
77	8/20	会員 渡辺弥栄司	眼の国際比較
78	8/27	齊藤隆介	残しておきたい日本の職人技術
79	9/3	会員 鈴木哲夫	クリスタル硝子について
80	9/10	会員 安藤 蕃	当面の放送諸問題
81	9/17	会員 鳥居達也	あなたはどの人種に属するか (日本人4人種論)
82	9/24	会員 内田 宏	技術革新と人生
83	10/1	東京キワニスクラブ年次総会	
84	10/8	会員 正力 亨	巨人軍の現状
85	10/15	会員 安部 英	血液型のお話
86	10/22	産業心理センター 奥田秀夫	自律訓練と潜在意識
87	10/29	郵政省経理局長 浅野賢澄	電気通信について
88	11/5	英国旅行協会駐日代表 ジェフレット・ハミルトン	史蹟をめぐるテムズ河 (映画上映)
89	11/12	第2回キワニス家族パーティー(獅子てんや瀬戸わんや)	
90	11/19	会員 梶川俊吉	激動する東南アジアと日本に対するその影響
91	11/26	会員 赤沢璋一	住金問題と通産省の立場
92	12/3	真向法 長井 洞	真向法 (健康と美容のひけつ)
93	12/10	会員 三輪良雄	オリンピックと自衛隊 (映画上映)
94	12/17	会員 中西一郎	日本人のくらし
95	12/24	ユニバシアード東京大会事務局長 北沢 清	東京ユニバシアードについて

1966年

回数	日付	スピーカー	演題
96	1/7	会員 春日由三	音楽著作権について
97	1/14	外務省情報文化局長 曾野 明	1966年の国際展望
98	1/21	日本経済新聞社政治部長 新井 明	今年の政治動向
99	1/28	会員 吉村一雄	アメリカの一つの社会
100	2/4	会員 三輪良雄	映画「自衛隊」
101	2/11	会員 天城 勲	心身障害児の現状と問題点
102	2/18	会員 上村健太郎	国土縦貫道路について(映画上映)
103	2/25	万国博協会事務総長 新井真一	日本万国博覧会の構想
104	3/4	日興証券社長 湊 守篤	日本経済の見通し
105	3/11	作曲家 浜口庫之助	「愛しちゃったのよ」はなぜはやる
106	3/18	東京大学教授 三木安正	精神薄弱児の教育
107	3/25	靖国神社禰宜 坂本定夫	靖国神社
108	4/1	作家 阿川弘之	「山本五十六」雑談(明治百年記念講演第1回)
109	4/8	慶応義塾大学教授 池田弥三郎	東京語のうつりかわり(明治百年記念講演第2回)
110	4/15	会員 三輪良雄	日本の防衛—自衛隊を裸にする—
111	4/22	会員 小坂徳三郎	東南アジア諸国を廻って
112	5/6	会員 河井信太郎	三代疑獄史(明治百年記念講演第3回)
113	5/13	会員 紅林茂夫	景気回復の現状と見通し
114	5/20	兎玉誉士夫	国粹主義者の系図(明治百年記念講演第4回)
115	5/27	会員 土屋研一	海運トップバッター論
116	6/3	前防衛研究所員・軍事評論家 若泉 敬	中共の核武装と日本
117	6/10	作家 司馬遼太郎	新撰組の経済的背景—明治維新前夜—(明治百年記念講演第5回)
118	6/17	外務省情報文化局長 新関欽哉	最近の国際情勢について
119	6/24	演劇評論家 戸板康二	演劇改良運動に活躍した人達(明治百年記念講演第6回)
120	7/1	菅原通済	三悪追放(明治百年記念講演第7回)
121	7/8	会員 茅野 健	人間の改造
122	7/15	会員 五十嵐昭夫	最近の労働問題あれこれ
123	7/22	和田日出吉	2・26事件の回想(明治百年記念講演第8回)
124	7/29	会員 原文兵衛	第51回キワニス・インターナショナル年次総会報告
	"	会員 吉村一雄	第50回 I L O 総会報告
125	8/5	三鬼陽之助	三代財界人気質(明治百年記念講演第9回)
126	8/12	会員 青木半治	中国のスポーツの現状—最近の北京の表情—
127	8/19	公明党委員長 辻 武寿	創価学会・公明党のめざすもの
128	8/26	軍事評論家 高木惣吉	日清日露戦争—明治の軍人と昭和の軍人—(明治百年記念講演第10回)
129	9/2	キワニス・インターナショナル会長 グレン・リード	キワニスのめざすもの
130	9/9	国策研究会常任理事 矢次一夫	東条英機とその時代(明治百年記念講演第11回)
131	9/16	会員 渡辺弥栄司	中共との貿易問題あれこれ
132	9/30	元日本共産党中央委員 神山茂夫	日本共産党秘史(明治百年記念講演第12回)
133	10/7	東京キワニスクラブ年次総会	
134	10/14	随筆家・おはなはんの長男 林 謙一	三代を生きるわが母 おはなはんの生涯(明治百年記念講演第13回)
135	10/21	東京工業大学教授 永井道雄	教育(大学)三代(明治百年記念講演第14回)
136	10/28	会員 梶川俊吉	紅衛兵の性格と日共の動向
137	11/4	赤札堂社長 小泉一兵衛	現代の世相—第2ラウンドを迎えた流通革命—
	11/10	第4回秋季レディースデー(ダニー飯田とパラダイスキング)	
138	11/11	遠山元一	三代株屋気質(明治百年記念講演第15回)
139	11/18	政治評論家 藤原弘達	中共—北米—西欧をめぐる
140	11/25	政治評論家 御手洗辰雄	三代宰相論(明治百年記念講演第16回)
141	12/2	元内務大臣 後藤文夫	誇り高き官僚(明治百年記念講演第17回)
142	12/9	政治経済評論家 小汀利得	大蔵大臣列伝(明治百年記念講演第18回)
143	12/16	警視庁交通部長 国島文彦	激化する交通戦争
144	12/23	会員 安部 英	羅り易い重役の病氣

1967年

回数	日付	スピーカー	演 題
145	1/6	朝日新聞政治部長 一柳東一郎	1967年政界展望
146	1/13	伝記作家 小島直記	三代男の花道 (明治百年記念講演第19回)
147	1/20	侍従 入江相政	三代竹の園生 (明治百年記念講演第20回)
148	1/27	経営学者 坂本藤良	三代サラリーマン気質 (明治百年記念講演第21回)
149	2/3	外務省欧亜局長 北原秀雄	1967年国際情勢展望
150	2/10	評論家 細川隆元	日本官僚論 (明治百年記念講演第22回)
151	2/17	会員 紅林茂夫	1967年日本経済展望
152	2/24	会員 安部 英	続重役の罹り易い病気
153	3/3	元陸軍少将 岩畔豪雄	三代謀略秘話 (明治百年記念講演第23回)
154	3/10	立教大学教授 野田一夫	誇り高き資本家たち (明治百年記念講演第24回)
155	3/17	毎日新聞政治部長 細川隆一郎	特ダネこぼれ話
	3/23	第5回春季レディスデー (東京ぼん太)	
156	3/24	秋津療育園長 草野熊吉	重症心身障害児の現状と対策 第2回キワニス社会公益賞受賞者
157	3/31	富士製鉄社長 永野重雄	第二次廃藩置県 (明治百年記念講演第25回)
158	4/7	喜福寺住職 今井大彭	仏教徒としての私の課題
159	4/14	作家・経済評論家 邱 永漢	世相漫談
160	4/21	作家・大僧正 今 東光	三代作家気質 (明治百年記念講演第26回)
161	4/28	元満州国國務院総務長官、東急国際ホテル社長 星野直樹	満州大陸にかけた夢 (明治百年記念講演第27回)
162	5/12	石井音楽事務所々長 石井好子	私の観た外国の男性と日本の男性
163	5/19	会員 鹿内信隆	ソ連雑感
	"	会員 牛山善政	ベトナム前線レポート
164	5/26	会員 山本重信	資本自由化の問題
165	6/2	本因坊囲碁九段 坂田栄男	勝負の世界
166	6/9	イオ生活プロデューサーグループ 山手国弘	イデオロギーの終焉
167	6/16	会員 上田克郎	日本の石油業
168	6/23	心理学者 山口 彰	催眠の経営への応用
169	6/30	会員 茅野 健	情報革命講座第1講 電子計算機革命について
170	7/7	元内大臣 木戸幸一	八月十五日—終戦秘話— (明治百年記念講演第28回)
171	7/14	経企庁物価政策課長 丸山英人	物価対策の問題点
172	7/21	評論家 大宅壮一	戦後20年 (明治百年記念講演第29回)
173	7/28	会員 山下静一	アメリカ中西部
174	8/4	会員 阿部 実	情報革命講座第2講 機械と人と組織
175	8/11	会員 安部 英	健康講座第1講 いつまでも若々しく
176	8/18	会員 紅林茂夫	下期の景気動向の問題点
177	8/25	会員 佐治敬三	ビールの話
178	9/1	会員 山田正男	未来学講座第1講 首都圏の未来像
179	9/8	松永安左衛門	明治200年 (明治百年記念講座 最終回)
180	9/22	会員 上田英雄	健康講座第2講 心筋梗塞
181	9/29	会員 高木 昇	未来学講座第2講 未来学序説
182	10/6	会員 茅野 健	情報革命講座第3講 経営における情報革命
183	10/13	1967年度年次総会	
184	10/20	会員 中山恒明	健康講座第3講 私の引受けられる癌と引受けられない癌
185	10/27	国鉄総裁 石田礼助	人生観講座第1講 我が人生観
	11/8	第6回秋季レディスデー(トリオスカイラインズ)	
186	11/10	会員 澄田 智	これからの銀行
187	11/17	キワニス・インターナショナル会長 ジュームス・モーラー	キワニスの活動
188	11/24	慈恵医大教授 高橋忠雄	健康講座第4講 酒・煙草・夜更し賛成論
189	12/1	会員 永谷嘉男	大衆の味
190	12/8	関東通信病院皮膚科部長 安田利顕	健康講座第5講 禿頭と白髪の子防
191	12/15	日本電子工業振興協会専務理事 齊藤 有	情報革命講座第4講 日本の電子計算機の現状
192	12/22	ブリジストンタイヤ会長 石橋正二郎	人生観講座第2講 我が人生観

1968年

回数	日付	スピーカー	演 題
193	1/5	新年互礼会	
194	1/12	外務省情報文化局長 新関欽哉	1968年国際情勢展望
195	1/19	会員 紅林茂夫	1968年日本経済展望
196	1/26	毎日新聞政治部長 細川隆一郎	1968年政界展望
197	2/2	会員 有馬 啓	わが国の微生物産業とその研究について
198	2/9	日本経済研究センター理事長 大来佐武郎	未来学講座第3講 日本の経済は米国に追いつくか
199	2/16	落語家 林家正蔵	寄席今昔
200	2/23	東大医学部教授 大島良雄	鍼灸指圧の限界効用
201	3/1	会員 原 文兵衛	公害対策の問題点
202	3/8	会員 小坂徳三郎	東南アジア諸国を廻って
203	3/15	東慶寺住職 井上禪定	人生観講座第3講 縁切寺今昔
204	3/22	体操研究家 竹腰美代子	毎日の健康
	3/27	第7回レディスデー(ジュディオンング、ワイルド・ワンズ)	
205	3/29	会員 鶴沢 晋	新聞で騒がれた最近の民事裁判—交通事故慰謝料や日照権など—
206	4/5	会員 泉 美之松	経営者の知っておきたい税金あれこれ
207	4/12	第3回キワニス社会公益賞表彰式	
208	4/19	電々公社経営調査室長 高橋達男	情報革命講座第5講 情報革命を迎えて—通信革命を中心に—
209	4/26	” ”	情報革命講座第6講 情報革命を迎えて—通信革命を中心に—
210	5/10	医師 小倉清太郎	健康講座第7講 コーカサスに長寿の秘密を探る
211	5/17	会員 三輪良雄	言いたい放題—防衛問題や警備問題やら—
212	5/24	東大生産技術研究所教授 池辺 陽	未来学講座第4講 未来の都市
213	5/31	会員 紅林茂夫	ジョンソン声明以後の国際経済展望
214	6/7	厚生省人口問題研究所長 館 稔	未来学講座第5講 将来の人口問題
215	6/14	科学警察研究所長 古畑種基	最近の科学調査について
216	6/21	東京医科歯科大学教授 落合京一郎	健康講座第8講 性の若返り
217	6/28	IOC会長 アヴェリー・ブランデー	武士道とアマチュア・スポーツ
218	7/5	会員 赤沢 璋一	何が起るかわからない
219	7/12	スターメーカーズスクール校長 白井美喜	女性をしあわせにする男性の魅力
220	7/19	会員 吉村一雄	フランスの学生問題とゼネスト
		会員 鹿内信隆	沖縄問題のさわり
221	7/26	長井 洞	健康講座第9講 真向法釈意
222	8/2	国策パルプ会長 南 喜一	がまの聖談始末記
223	8/9	徳川義親	華族—その維新前と維新後
224	8/16	元陸軍大将 今村 均	我が歩み来し道
225	8/23	会員 岡村朝夫	情報革命講座第7講 ゼロックス・レヴオリューション
226	8/30	京大人文科学研究教授 会田雄次	病めるアメリカ
227	9/6	日銀政策委員 東畑四郎	未来学講座第7講 食糧管理問題を含む今後の農政について
228	9/13	文化庁長官 今日出海	東西雑感 笑いと惚れの人間学
229	9/20	映画監督 黒沢 明	トラ・トラ・トラ (作戦)
230	9/27	会員 原田 明	200億ドル輸出の開発時代
231	10/4	会員 村上七郎	テレビ番組悲話
232	10/11	1968年度東京キワニスクラブ年次総会	
233	10/18	会員 鳩山威一郎	主計局長悲しからずや
234	10/25	元ソ連大使 山田久就	東欧自由化の嵐
235	11/1	警察庁警備局長 川島広守	学生問題と1970
	11/7	第8回秋季レディスデー (佐良直美)	
236	11/8	養神館々長 塩田剛三	合気道演武
237	11/15	キワニス・インターナショナル会長 ハロルド・ハインバウ	キワニスについて
238	11/22	会員 青木半治	メキシコ・オリンピック
239	11/29	NHK解説委員長 平野宗義	アメリカ大統領選挙と日本
240	12/6	成蹊大学教授 和田 弘	情報革命講座第8講 電子計算機の現状と将来
241	12/13	日本経済新聞社 武山泰雄	動揺する国際通貨問題
242	12/20	財界研究所長 三鬼陽之助	68年を回顧する

年月日	題名	年月日	題名	年月日	題名
43年7/26	巴里祭	48年5/24	ブルク劇場	11/30	マイライフ
8/23	会議は踊る	49年1/24	アンナ・カレニナ(英)	12/21	ザ・ポップマン
9/27	陽気なドン・カミロ	2/28	男の争い(仏)	1980.1/25	オフサイド7
10/25	ミモザ館	3/28	どん底(仏)	2/29	象物語
11/22	ブルク劇場	4/25	屋根(伊)	3/28	失われた航海
12/13	ホフマン物語	5/23	最後の一兵まで(独)	4/25	ジャグラー
44年1/24	未完成交響楽(独)	7/25	制服の処女(独)	5/30	少年と鮫
2/28	商船テナシチー(仏)	8/22	夜ごとの美女(仏)	6/27	桜
3/28	制服の処女(独)	9/19	笠なき騎士	7/25	ピンクパンサー&クルゾー警部
4/25	自由を我等に(仏)	10/17	アスファルト(独)	8/29	バトルクリークブロー
5/23	我等の仲間(仏)	11/28	ドンキホーテ	9/26	ミュージック・ミュージック
6/27	ジュニイの家(仏)	12/19	ジュニイの家(仏)	10/31	ザ・ウーマン
7/25	埋れた青春(仏)	50年1/23	トミー	11/28	ピラミッド
8/22	モンパルナスの灯(仏)	2/27	ガラスの城	12/19	夢・夢のあと
9/26	橋(独)	3/19	別れの曲	1981.1/31	マイ・ボディガード
10/24	肉体の悪魔(仏)	4/23	乙女の湖	2/27	ヤング・マスター
11/28	恐怖の報酬(仏)	5/28	文化果つるところ	3/27	マルホランド・ラン
12/12	赤と黒(仏)	6/25	ブルク劇場	4/24	エレファント・マン
45年1/23	望郷(仏)	1976.7/23	リップスティック	5/29	タイムズ・スクエア
2/27	天井桟敷の人々(仏)	8/27	冒険喜劇大出世	6/26	ラスト・レター
3/27	リチャード三世(英)	9/24	危険を買う男	7/31	バーニング
4/24	アスファルト(独)	10/29	ロイドの用心無用	8/28	アメリカン・バイオレンス
5/22	白き処女地(仏)	11/26	ダウントウン物語	9/25	上海異人娼館(中止)
6/26	居酒屋(仏)	12/17	ジャン・ギャバンを偲んで —我等の仲間—	10/30	エンドレス・ラブ
7/24	シノバリエの流行児(仏)	1977.1/29	アドベンチャーファミリー	11/27	家族の肖像
8/28	地の果てを行く(仏)	2/25	友よ静かに死ね	12/18	ブッシュマン
9/25	女だけの都(仏)	3/25	華麗な関係	1982.1/27	新Mr. Boo アヒルの警備保障
10/23	にんじん(仏)	4/22	スクワーム	2/26	リトル・プリンス
11/27	年上の女(英)	5/27	ふたりだけの森	3/23	終電車
12/11	リラの門(仏)	6/24	愛のファミリー	3/26	ザ・カンニング <IQ=0>
46年1/22	夜ごとの美女(仏)	7/29	ビューティフル・フレンズ	4/30	チャタレイ夫人の恋人
2/26	たそがれのウィーン(独)	8/26	ピリティス	5/28	鉄の男
3/26	落ちた偶像(英)	9/30	少年と海	6/25	メガフォース
4/23	モンパルナスの夜(仏)	10/28	ドラム	7/30	ワンフロムザハート
5/28	文なし横丁の人々(英)	11/25	カプリコーン-1	8/27	アドベンチャーロード
6/25	どん底(仏)	12/23	スクランブル	9/24	ゾロ
7/23	禁じられた遊び(仏)	1978.1/27	モダン・タイムス	10/29	小林寺
8/27	愛情の瞬間(仏)	2/24	さよならの微笑	11/26	地中海殺人事件
9/17	旅路の果て(仏)	4/28	ゆかいな風船旅行	12/24	ラグタイム
10/22	フレンチ・カンカン(仏)	5/26	白き氷河の果てに	1983.1/28	悪漢探偵
11/26	第三の男(英)	6/17	マイ・フェア・レディ	2/25	ザ・カンニング <アルバイト情報>
12/17	罪と罰(仏)	6/30	キタキツネ物語	4/22	ハイ・ロード
47年1/28	巴里の空の下セースは流れる(仏)	7/28	愛と喝采の日々	5/20	東京裁判
3/31	アンナ・カレニナ(英)	8/25	愛の亡霊	6/16	もどり川
4/28	別れの曲(仏)	9/29	新サイコ	7/29	アウトサイダー
5/26	マヅルカ(仏)	10/27	ジュリア	8/26	オータムストーリー
6/23	花咲ける騎士道(仏)	11/22	ブルースリー電光石化	9/27	ロングウェイホーム
7/28	ガラスの城(仏)	1979.1/26	思春の森	10/28	ルードウイヒ 神々の黄昏
8/25	悪魔のような女(仏)	2/23	アルプスの少女ハイジ	11/25	イフゲニア
9/22	青い麦(仏)	3/30	レガシー	1984.1/27	個人教授
6/27	乙女の湖(仏)	4/27	リベンジャヤー	2/24	ロンリーウェイ
8/24	黒いオルフェ(仏)	5/25	ラッシー	3/23	ウエンディー
10/26	巴里—柏林	6/29	ラスト・シューティスト		
11/30	戦火のかなた(伊)	7/27	星空の神話		
12/14	裁きは終りぬ(仏)	8/31	ザ・シュガー		
48年1/25	モナリザの失踪(独)	9/28	ファンタズム		
2/22	美しき青春(仏)	10/26	ブルックリン物語		
3/22	望郷(仏)				
4/26	誓いの休暇(独)				

## 美女を囲む会

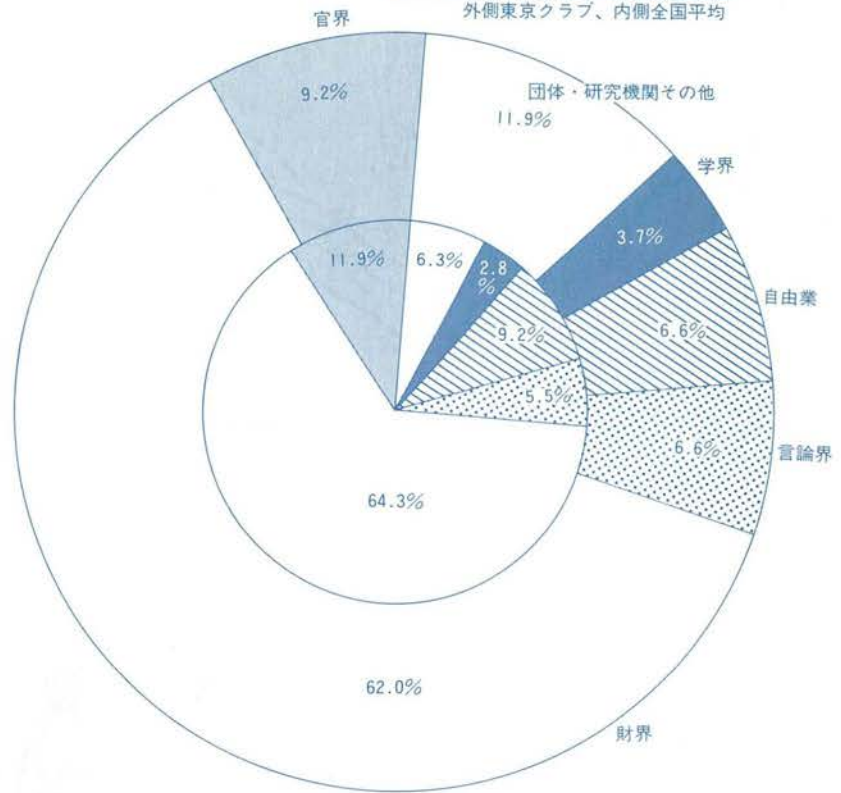
## —水会ゲスト

(於・ヴァンローゼ)

三浦布美子  
 芳村真理  
 倍賞美津子  
 中村メイコ  
 十朱幸代  
 久保菜穂子  
 高千穂ひづる  
 由紀さおり  
 梓 みちよ  
 江利チエミ  
 岡島エリ  
 高峰三枝子  
 藤村志保  
 河内桃子  
 雪村いづみ  
 大空真弓  
 長谷川裕子  
 坪内ミキ子  
 入江若葉  
 島山みどり  
 村松英子  
 八千草薫  
 浜 美枝  
 三田佳子  
 池内淳子  
 山本陽子  
 小川真由美  
 藤田小姫女  
 森 光子  
 ジュディ・オンゲル  
 町 春草  
 京塚昌子  
 中町由子  
 鳳 八千代  
 浜 木綿子  
 松永てるは  
 関根恵子  
 香山美子  
 応 蘭芳  
 島田陽子  
 佐々木久子  
 上月 晃  
 松坂慶子  
 木原光知子  
 加茂さくら  
 美輪明宏  
 松島トモ子  
 久里千春

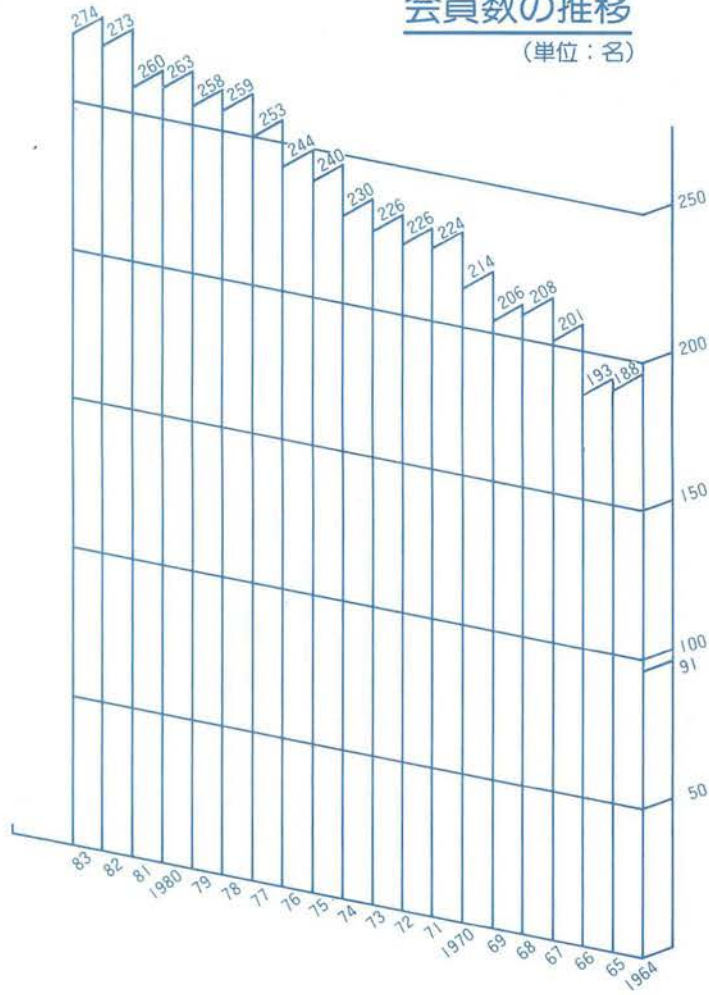
## 分野別会員数の割合

外側東京クラブ、内側全国平均



## 会員数の推移

(単位：名)



## 会員の年齢別構成

斜線は休会会員

